

謹啓

春日暖き思ふ季
とふいて春りよした
而清茶と賀し
上布ます

偕 二月度日々藝

術院の御推挙に
よりまゝ不肖の
身が栄譽の列
に連ねさせたい
きました際は
く而存志を賜
り有難く御芳情
の程
申上げます
深謝

早速御挨拶に
伺ふ所のところ
昨秋末に病氣中
静養にいてめで
居りまするの略
儀ながら書中と
もって御禮を申延
べさせて載ります

尚日増し快方に白
い舞を立す日も
近いにて春りよした
どの竹即は信喜の
御着額を希い
度懇願申上げ
ます

木の飲む梅

豊臣に候き

敬具

昭和七年三月

糸柳三郎

舟橋聖一



東京市神田区本町三丁目二番地

糸柳三郎